

# トルコにおけるイスラーム復興と世俗主義

エルバカンとアタテュルク主義

平成 23 年 5 月 16 日  
法学部3回生 東谷 陽聖

<目次>

- 0. はじめに
- 1. アタテュルク主義の継承
- 2. イスラーム復興勢力と軍部
  - 2-1 議会制度
  - 2-2 エルバカンの「ミッリーギョリュシュ」
  - 2-3 軍事政権の「トルコ・イスラーム統合」
- 3. 世俗主義の裏側にあるもの
- 4. おわりに

0. はじめに

- 1. アタテュルク主義の継承
  - アタテュルクという人物

共和国主義・人民主権・民族主義・国家主義・革命主義・世俗主義...6本の矢  
= 建国エリートの理念

トルコ独特の政教分離、「世俗主義」

- 2. イスラーム復興勢力の台頭とクーデター
  - 2-1 議会制度
    - 一院制の大国民議会

任期 5 年の大統領制

大選挙区非拘束名簿式連記投票制による多数代表制...得票率 10%以下の政党は議席を得ることができない

## 2-2 エルバカンの「ミッリーギョリュシュ」

世俗主義を前提とした「イスラーム復興」とシャリーア体制を望む「イスラーム主義」

多党制開始による教育・公共放送などにおける規制緩和

人口の 99%がムスリムであるトルコにおいては双方にとって利用すべき資源  
対ソ包囲網でのアメリカとの外交政策上的一致

ミッリーギョリュシュ

国民秩序党 - 国民救済党 - 福祉党

## 2-3 軍事政権の「トルコ・イスラーム統合」

3 度のクーデタと民政移管

国家安全保障会議 (MGK) が大きな力を持つ

トルコ・イスラーム統合 (TIS) の採用

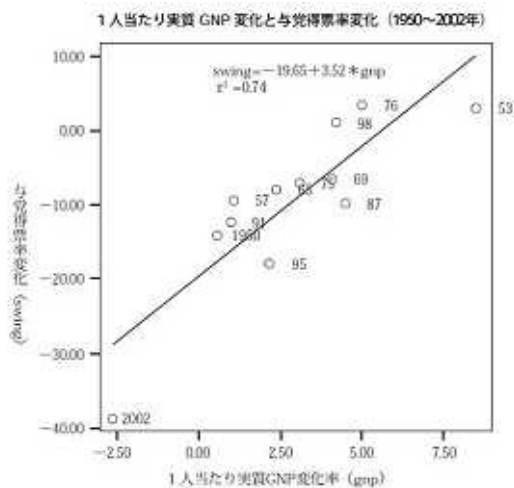
## 3. 世俗主義の裏側にあるもの

時代とともに変容を遂げてきた世俗主義

体制護持の矛盾

政界の対立構造と業界団体 TUSIAD と MUSIAD の構図

## 4. おわりに



(注) 被説明変数は、総選挙における与党（連立の場合は連立与党合計）得票率の前回総選挙からの変化（swing）。説明変数は、与党在任期間中の1人当たり国民総生産年間変化率の平均（gnp、年次データを経年調整）。在任1年目と最終年の値は、在任月数が6か月を超える場合にこれを含まない。なお、2002年の観測値は全体の分布からやや乖離しているが、外れ値（outlier、標準偏差の3倍が目安）ではない。  
 (出所) State Institute of Statistics, Statistical Yearbook, 各年、および State Planning Organization ホームページ (www.dpt.gov.tr) のオンライン・データより、筆者作成。

図1 「現状分析 トルコ 2002 年総選挙と親イスラム政権の行方」より

	得票率 (%) (議席数)					
	1987	1991	1995	1999	2002	2007
祖国党 (83-09)	36.2 (292)	24.0 (115)	19.7 (132)*2	13.2 (95)	5.1 (0)	
正道党 (83-07)	19.1 (59)	27.0 (178)	19.2 (135)	12.0 (85)	9.5 (0)	
/民主党 (07-)						5.4 (0)
福祉党 (84-98)	7.2 (0)	16.9 (62)*1	21.3 (158)			
/美德党 (97-01)				15.4 (111)		
/公正と発展党 (01-)					94.3 (263)	46.6 (341)
民族主義労働党 (85-93)	2.9 (0)	*1				
/民族主義行動党 (98-)			9.2 (0)	19.0 (129)	8.4 (0)	14.3 (70)
民主左派党 (85-)	8.5 (0)	10.8 (7)	14.6 (76)	22.2 (136)	1.2 (0)	*4
社会民主主義労働党 (85-95)	24.9 (99)	20.8 (88)*2				
社会民主人民党 (02-)						
共和人民党 (91-)			10.7 (49)	8.7 (0)	19.4 (178)	20.9*4 (112)
人民の労働党 (90-93)		*1				
/民主主義党 (93-94)						
/人民の民主主義党 (94-03)			4.2(0)	4.7 (0)		
/民主人民党 (97-05)					6.2 (0)	

図2

NIHU プログラム・イスラーム地域研究東京大学拠点・グループ2「中東政治の構造変容」より

<参考文献>

阿部 るり.2004. 「イスラーム復興とマス・メディア:トルコにおけるメディアの発展と媒介されるイスラームアイデンティティ」『コミュニケーション研究』 34:1-33.

坂本 勉.2008. 「トルコ民族主義とイスラーム」『別冊 環』 14:79-88.

澤江史子.2004. 「周縁化される世俗主義 トルコにおけるイスラーム政策と政軍関係 (1980-1990年代半ば)」『AJAMES』 19:143-164.

.2004. 「世俗主義体制の中の「イスラーム政党」トルコの事例」『アジア・アフリカ地域研究』1:251-276.

設楽國廣.2008. 「イスラームとトルコ」『別冊 環』 14:89-95.

遠山敦子.2001. 『トルコ 世紀のはざままで』 日本放送出版協会.

内藤正典.2008. 『激動のトルコ』 明石書店.

.2008. 「トルコ共和国の根幹」『別冊 環』 14:67-78.

間 寧 .2003. 「現状分析 トルコ 2002 年総選挙と親イスラーム政権の行方」『現代の中東』 35:69-79.

森 孝一【編】 同志社大学一神教学術研究センター【企画】.2009. 『ユダヤ教・キリスト教・イスラームは共存できるか』 明石書店。

八谷まち子.2006. 「欧州統合と世俗主義 トルコの EU 加盟問題の視点から 」『研究ノート』 73:555-585.

<ウェブ>

SOIAS:上智大学イスラーム地域研究機構ホームページ

(<http://www.info.sophia.ac.jp/SOIAS/rep/rep.html>)

NIHU プログラム・イスラーム地域研究東京大学拠点・グループ2「中東政治の構造変容」内、澤江史子女史執筆ページ

([http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~dbmedm06/me\\_d13n/database/turkey/turkey\\_all.html](http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~dbmedm06/me_d13n/database/turkey/turkey_all.html))